

# 第3回定例会は5件の議案や 請願2件などを審議



平成30年第3回高梁市議会（定例）が、6月12日から29日まで開催されました。3件の報告を受け、議案5件は可決され、請願2件は不採択されました。

討論では、宮田好夫議員は、請願第1号「教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2019年度政府予算に係る意見書採択の要請について」は、「学びの質を高める教育環境の実現のために教職員の定数を増やすことは必然であり採択すべき」、請願第2号「地方財政の充実・強化を求める」請願書については、「地方自治体が担う役割が増える中で、財源の確保はますます重要になってくる。この請願は本市にとっても必要な内容であり、高梁市議会として意見書を国に提出すべき」と討論しました。

また、平松賢司議員は、議案80号「専決処分の承認を求めることについて」に反対し、2つの請願に賛成の立場から討論しました。議案80号について、議案に含まれる専決3号「高梁市国民健康保険条例の一部を改正する条例」に対して「これ以上の市民負担増は、病気になるっても医療機関にかかれないなど受診抑制と重なって重症化につながる」などから反対し、また、日名農村プールを行政財産としての用途を廃止する議案82号「高梁市多目的集会所及び農業者等健康増進施設条例の一部を改正する条例」については、「反対ではないが、これからの地元の皆さんと今後の利用について協議を重ねていくことを望む」と討論しました。

一方、伊藤泰樹議員は、議案82号については賛成の

立場ながらも「関係者とのコンセンサスが十分になされていない」との立場から反対し、また、防災ラジオの購入を審議した議案83号「財産の取得に関する請願の議決を求めることについて」については、賛成ながら「旧高梁地域の第一次募集の申し込みが少なすぎる」と懸念される。広報に努めてほしい」との意見を添えました。2つの請願については、「昨年9月にもほぼ同じ内容で提出されており、内容の精査と現状分析が不足しているのではないか」という理由で反対しました。

6月定例会で賛否が分かれた議案等の議決結果

| 件名   | ○賛成 ●反対 |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |
|--|---------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|
|  | 森       | 平松 | 伊藤 | 森上 | 石部 | 三村 | 石井 | 黒川 | 石田 | 内田 | 宮田 | 川上博 | 川上修 | 川上博 | 宮田 | 大月 |
| 専決処分の承認を求めることについて  | ○       | ●  | ○  | ○  | ●  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○   | ○   | ○   | ○  | ○  |
| 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2019年度政府予算に係る意見書採択の要請について | ●       | ○  | ●  | ●  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○   | ○   | ○   | ○  | ○  |
| 「地方財政の充実・強化を求める」請願書  | ●       | ○  | ●  | ●  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○   | ○   | ○   | ○  | ○  |

◎他の議案は全会一致で可決しました。 ○議長は裁決に加わりません。

## 総務文教委員会 防災ラジオの取得について

「財産の取得に関する議会の議決を求める請願書」

委員からは、本年度の旧高梁地域の防災ラジオの申し込みがあまりにも低いという指摘がありました。旧高梁地域において申し込みが特に低い傾向が出ていること、各種広報媒体を利用して必要性を周知するよう努めたいという答弁がありました。採決の結果、可決されました。

「教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2019年度政府予算に係る意見書採択の要請」

毎年同じような文章で、具体的なものが無い、地域的な検討がなされていない、高梁市においてはALTの独自配置、長時間労働は正のために昨年でも率先して

取り組まれており反対するという意見がありました。これに対して、業務の持ち帰り、部活顧問の土・日曜日のボランティア出勤は無くなつてはならず、国の責任で減らしていくべきという賛成意見もありました。採決の結果、不採択となりました。

「地方財政の充実・強化を求める」請願書

全国市長会からも提出されており、高梁市があえて出す必要がない等の反対意見がありました。これに対して、自由に使えるお金が全体の6〜7%しかない高梁市において地方財政の充実・強化を求めることは当然のことという賛成意見もありましたが、採決の結果、不採択となりました。

## 産業経済委員会 日名農村プールについて

「高梁市多目的集会所及び農業者等健康増進施設条例の一部を改正する条例」

成羽町日名にある高梁市日名農村プールに関する条例であるが、地元から使えらうちは使わせてほしいとの要望が出ていると聞いているがどうするかという質問がありました。これに対して、平成24年の行革の中で廃止が決まっている。平成27年の指定管理者の更新の中でも、廃止の方針は伝えており、今年3月をもって指定管理を終えた。施設は築37年が経過し、安全性の確保が難しいので条例は廃止する。しかし、地域にとって重要な施設であり、

地域で管理されているとの認識はしており、すぐに利用できないというわけではなく、安全に使用できる間は地元で活用していただく

方向で協議を進めたいとの答弁がありました。採決の結果、可決されました。

また、3月の委員会審議において付帯決議が付された『岡山自動車道付加車線設置推進事業』について経過報告が行われました。

執行部からは、7月から専門の部署が立ち上げられること、また残土処分場については地元からの要望による1カ所を加えて5カ所となった現在の状況について報告がされました。

各委員からは、体制整備や地権者との交渉の遅れを指摘する意見や安全対策、迅速な対応を求める意見がありました。

それを受け執行部から、本体工事等が円滑に進むよう全力で取り組むとの回答がなされました。

## 市民生活委員会 国保税について

「高梁市国民健康保険条例の一部を改正する条例」

今年度から国保制度が高梁市に統合されたが、高梁市と同様医療費の高い自治体では一般会計からの繰り出しもしながら保険料率は低く抑える運営をしている。県が示した国保の運営指針では基準外繰入が認められる場合もあるので、一般会計の健全性は十分考慮しながら国保財政の運営方法を考えるべきではないかとの質問がありました。これに対して、国の定めたルールに基づいた運営をすること

が1番であると考えており、一般会計の財政状態が悪くなれば国保だけではなくそのほかの特別会計にも影響を及ぼすことになるので、今後基準外の繰り出しは控える努力をしていきたいとの答弁がありました。